

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	企画財政部	
個別施策	G2-1	学びの場と機会の充実を図ります
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	様々な場所で集い、交流するとともに、ライフステージに応じた学習プログラムや現代的課題・地域課題などを学んでいる。

評価(成果)

- 学生・若者への体験活動支援
 - ・学生の自主的な社会参加活動を通じて、学生の人間的成長と地域の活性化を図るため、ボランティア活動について学生と地域のマッチングを行うU-サポの取組みとして、大学1年生を対象とした「キャリア入門講座」でボランティア講話を行ったことにより、ボランティア登録が促進され、学生登録者数(令和3年度 3,214人→令和4年度 3,295人)が前年度より増加したことで、ボランティア延参加数(令和3年度 3,835人→令和4年度 4,376人)も増加につながった。
 - ・若者が実現したいアイデアや企画にチャレンジできる場を確保するため、その基盤となる「ながさき若者会議」の自立に向けて若者会議メンバーと協議・検討を進めた結果、若者による自立的な会議運営を行う「ながさき若者会議運営プロジェクト」が令和4年7月に立ち上がり、継続的な若者がチャレンジできる場が確保できた。
 - ・長崎スタジアムシティ前面のJR長崎本線の高架下に「若者が楽しむことができる場」として広場を整備するため、主に若者を対象にアイデアワークショップを開催し若者の意見を取り入れながら広場の設計を実施した。

評価(問題点とその要因)

- 学生・若者への体験活動支援
 - ・U-サポの取組みについては、ボランティア延参加数は、コロナ禍の収束とともに増加傾向にあるが、コロナ禍以前の状況(令和元年度 5,431人)まで回復していない。
 - ・「ながさき若者会議運営プロジェクト」を立ち上げ、若者の自立的運営の機運が高まっているが、持続可能な会議運営にあたって、学びの質を高めるための会場確保や講師招へいが難しい。
 - ・高架下広場の計画地を取り巻く環境は来年秋の長崎スタジアムシティ開業を契機に大きく変化することが予想され、また周辺には住居等も存在していることから、スタジアムシティの状況や周辺環境に配慮した運営方法を検討する必要がある。

今後の取組方針

- 学生・若者への体験活動支援
 - ・U-サポの取組みについては、コロナの扱いが5類に移行し、対面型も含めたボランティア活動の回復が見込まれる中、学生ニーズを捉えた学びの場を創出し、低迷している参加状況のV字回復を目指す。
 - ・「ながさき若者会議」の取組みについては、「若者がチャレンジできる場」を継続していくため、若者と行政のそれぞれの強みを活かした運営体制をめざし、共催という形で行政も伴走支援する。
 - ・高架下広場について、来年秋の長崎スタジアムシティ開業にあわせて供用開始ができるように整備を進めるとともに、ものづくりワークショップなどの社会実験のフィールドとして活用することにより、スタジアムシティの状況や周辺環境に配慮した運営方法を検討する。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

施策を推進する主な事業			
96	事業名	游学都市・ながさき推進費	
	事業目的	長崎のまち全体が貴重な学びの場となるような游学の地として個性と魅力を高め、若者をはじめ多くの人々が交流するまちとなることを目的とする。	
	事業概要	長崎地域の大学と連携し、学びの場としての魅力向上と長崎で学ぶ魅力の情報発信に取り組む。	
	取組実績	大学1年生を対象とした「キャリア入門講座」でボランティア講話を行い、ボランティア登録を促進した。長崎のまちを舞台に最先端で活躍する人材を講師として招致し、学生が無料で視聴できるオンライン講座をリレー形式で実施した。	
		決算額	2,318,880 円
104	事業名	【補助】若者交流施設整備事業費（仮称）若者ひろば	
	事業目的	若者が多数集まることが想定される長崎スタジアムシティの北側玄関の前面に位置する高架下において、「若者のチャレンジを気軽に形にできる場」「若者が成功体験を蓄積できる場」「若者の多様なニーズに応える場」を創出するもの。	
	事業概要	若者から「選ばれるまち」にするため、「若者が楽しむことができる場」、「若者がチャレンジできる場」の創出をめざす「長崎×若者プロジェクト」の一環として、（仮称）若者ひろばの整備に取り組む。 【事業期間】令和4～令和6年度 【整備面積】A＝約700㎡	
	取組実績	長崎スタジアムシティ前面のJR長崎本線の高架下に「若者が楽しむことができる場」として広場を整備するため、主に若者を対象にアイデアワークショップを開催し若者の意見を取り入れながら広場の設計を実施した。	
		決算額	3,876,400 円